別表第６（第２条第２項第３号関係）

１．項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学義務猶予免除通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
6		許可期間	就学義務猶予開始年月日（就学義務免除開始年月日）から就学義務猶予終了年月日（就学義務免除終了年月日）までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		事由	就学義務猶予事由（就学義務免除事由）を記載	1	有	全角	38/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

２．構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学義務猶予免除通知書	Ａ４	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。